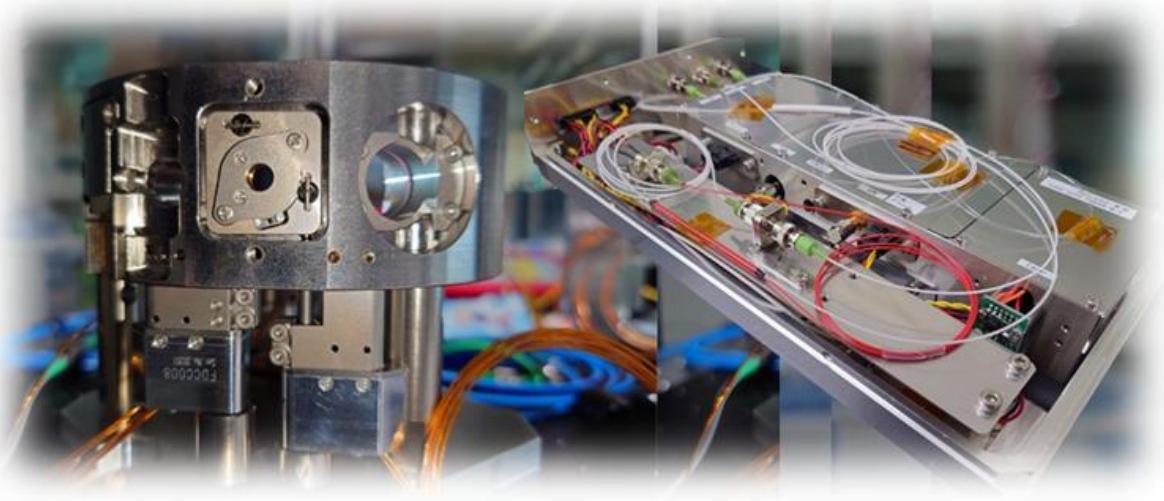
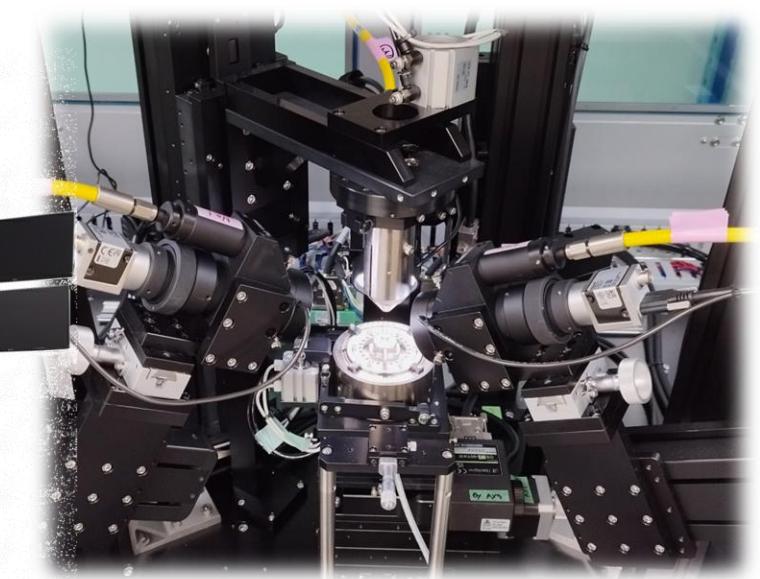


Corporate Report 2025

統合報告書



光なら、きっとできる。



我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

絶え間ない技術革新により、お客様へ価値ある製品を提供します。

公正な事業活動を通じて、当社に関わる全ての人々の幸福を実現します。

常に持続可能な社会への貢献を意識した経営を行います。

Light Solutions for Life®

編集方針

当社の統合報告書は、「中長期的な経営方針及び価値創造ストーリーを理解いただくこと」、「当社ならではのユニークなビジネスモデルやケイパビリティをより深く理解いただくこと」、「ステークホルダーの皆様との建設的な対話を通じた相互理解の促進と、当社経営の高度化の好循環を創生すること」を目的としております。今回は特に、「マテリアリティの

開示」「メッセージの充実」及び「事業領域の説明の充実」を中心に記載内容の改善を行いました。本報告書には、昨年度の統合報告書に関して投資家の皆様からいただいたご意見等も反映しております。今後も、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組むとともに、統合報告書を起点とした対話を通じて、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

対象読者

シグマ光機グループを取り巻くすべてのステークホルダーの皆様

報告範囲

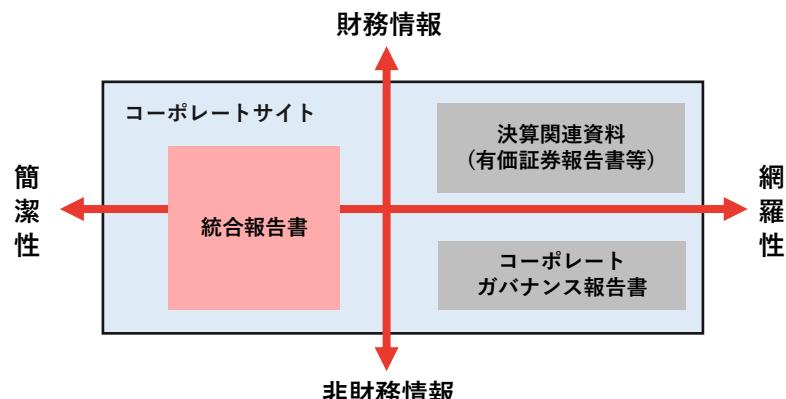
シグマ光機株式会社及び連結子会社

報告対象期間： 2024年6月1日～2025年5月31日

※一部に上記期間外の情報を含むことがあります。

※本報告書内の当社の役員・従業員の役職名等については、
上記の報告対象期間時点のものとなります。

本報告書の位置づけ



Contents

シグマ光機早わかり

- 01 主要製品
- 02 経営理念・目次
- 03 シグマ光機の軌跡
- 04 シグマ光機早わかり
- 06 シグマ光機の強み

社長メッセージ

- 07 社長メッセージ

シグマ光機の価値創造

- 09 中長期経営方針
- 10 経理・財務担当メッセージ
- 11 価値創造プロセス
- 13 要素部品事業
- 14 システム製品事業

サステナビリティ

- 15 サステナビリティ担当メッセージ
- 16 サステナビリティ
- 17 マテリアリティ
- 18 環境への取り組み
- 19 社会への取り組み
- 20 ガバナンスへの取り組み
- 21 【特集】社外取締役Q&A

会社情報

- 22 拠点一覧
- 23 Topics
 - (株)オックス社 「頭部専用PET装置Vrain®」の受託製造
 - オキサモ・グルプレ・体水分計
- 24 プランディング
- 25 財務・非財務ハイライト（5ヵ年）
- 26 会社概要

シグマ光機の軌跡

光なら、きっとできる。

今まで世の中になかったものを光で創る。
私たちシグマ光機グループは、
「光」で社会に貢献していきます。

当社設立



カタログ初版発刊



1977

1982 1984

1989

1993 1995

2001

2005

2010

2014

2019

2023 2025

1970年代

当社設立

1980年代

カタログによる無店舗販売

1990年代

積極的に事業拡大・上場

2000年代

選択・集中より産業向け拡大

2010年代

グローバル展開加速

2020年代～

社会貢献拡大

1996年
株式上場

能登工場建設



技術センター開設



日高本社・工場建設・移転



米国子会社設立



中国子会社設立



2001年
浜松ホトニクス(株)と
資本・業務提携

グローバル・ブランド
「OptoSigma」統一



フランス子会社設立



シンガポール
子会社設立



115億円

LMS株式会社

国内関連会社
LMS(株)設立

※売上高は1982年から記載しています。

※1991年は決算期変更により8ヶ月間の売上高を記載しています。

シグマ光機の早わかり

社名の由来



金属加工



素子研磨



システム設計

創業者3名が力を合わせて「シグマ」



光学機器の「光機」



シグマ光機株式会社

ギリシャ語で「総和、融和、協調」を意味する
「シグマ」と「光学機器」の提供で
社会に貢献していくということから、
「シグマ光機」と命名しました。

光の主な性質



波

光は波としての性質を持ちます。

波長ごとの特性を活かして、
集光による加工や、
光の経路制御（屈折・反射等）に
活用されています。



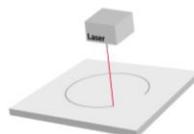
粒子

光は粒子としての性質も持ちます。

光を電気信号に変換する
センサーや通信など、
情報の検出・信号処理に
活用されています。

シグマ光機は、
光の波としての性質の
取り扱いが得意です。

光技術の主な用途



加工

光を1点に集め、
高エネルギー密度を活用
微細加工(細くしても折れない)
非熱加工(熱が伝わる前に加工)
ドライ加工(水や切削液が不要)



観察

肉眼では見えない
情報を可視化
像の拡大（顕微鏡等）
可視光域外（赤外・紫外・X線等）
無色透明な対象（干渉・屈折等）



測定

一定速度で直進するため、
高精度な測定が可能
精緻な距離・形状測定
複雑形状の三次元測定



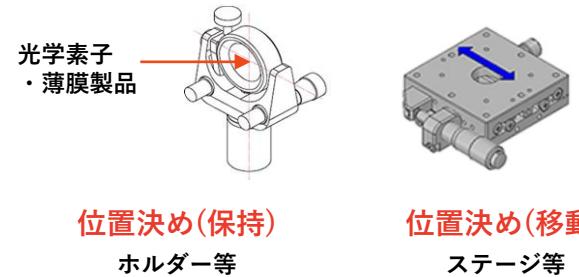
通信

宇宙で最も速い
情報伝達手段
大容量・超高速通信

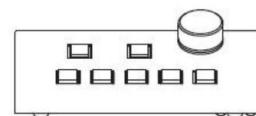
シグマ光機の早わかり

シグマ光機製品の事業領域

光学基本機器製品（機械加工製品）

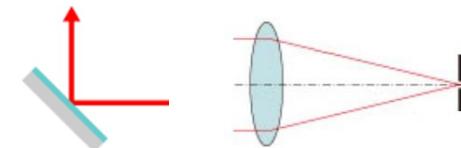


自動応用製品（電動化製品）



自動操作・遠隔制御等
自動ステージ(モータ付き)、
ソフトウェア、コントローラ等

光学素子・薄膜製品（ガラス・結晶材の研磨・コーティング製品）

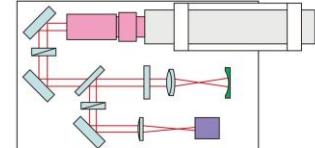


反射
ミラー等

屈折
レンズ等

分岐等
ビームスプリッター等

光学システム製品



レーザシステム等
加工アプリケーション、
観察システム、測定用干渉計等

光学要素部品・光学システム製品の開発・設計・製造・販売

シグマ光機のお客様

生産現場

研究・開発現場

検査装置

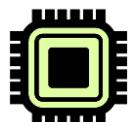
R&D試作機

実験用器材

商社

学術機関向け

メーカー向け



国家プロジェクト
・研究機関



通信・車・アライメント



医療・バイオ・介護



防衛・航空宇宙



エネルギー・環境



その他産業機器

シグマ光機の強み

光技術の弛まぬ革新と価値ある光ソリューションの提供

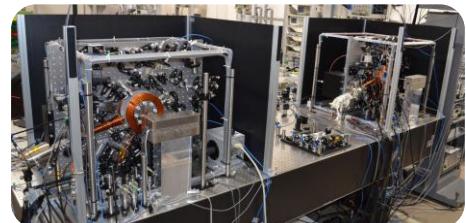
『お客様の欲しいを形に』をモットーに、シグマ光機グループの総合力を活かして、お客様への感謝を胸に、常に最先端の技術に挑戦し、新しい価値の創出に取り組んでいます。

Point. 1 研究開発分野での高い認知度とブランド力

レーザ創生期にあたる1977年から、国内の代表的な学術機関&研究機関等の高いニーズにお応えし、最先端の技術を蓄積してきました。長年培われた技術を活かして産業分野にも進出しており、お客様から高いご評価と厚い信頼を得ています。

シグマ光機の挑戦

光格子時計プロジェクト参画



© 香取秀俊2015

自動外観検査装置



Point. 2 高い技術力とワンストップ・サービス

光学設計・素子加工

機械加工

電気設計・ソフト開発

システム化

4つの中核技術を活用した総合力を活かし、
パーツからユニット、システムまで幅広いニーズに対応

Point. 3 国内外の生産・販売拠点を活用したグローバル対応



国内外の生産・販売拠点を活用し、
グループの総合力でお客様のニーズに対応

※詳細はこちらもご参照ください。
<https://www.sigma-koki.com/business/strength/>



医療機器・ヘルスケア機器



社長メッセージ



近藤 洋介

代表取締役社長

※米国グループ会社の新社屋移転の開会式で近藤社長。
(右から2番目)

ステークホルダーの皆様には、平素よりご支援と
ご愛顧を賜り、心から感謝申し上げます。

当社は、1977年の創立以来、「我社は光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念のもと、絶え間ない技術革新を通じて、光が持つ可能性を一つずつ実現することで、光産業の発展に貢献してまいりました。今日の当社があるのも、ひとえに皆様のご支援・ご協力のおかげです。

事業環境のメガトレンドをとらえ、先手対応を進め、持続的な企業価値向上の実現を目指します。

光を用いて物質を「加工」「観察」「計測」する等の光技術は、私達の生活の様々な所で活用されており、まさに「光の時代」の到来を迎えようとしております。量子、天文等の基礎研究分野から、半導体・電子部品、医療・美容、通信・航空・宇宙、エネルギー等の産業分野にまで。様々な分野から光技術が求められており、当社グループの事業機会はますます拡大しております。

このような事業環境の中、メガトレンドを捉えた先手対応を進めるべく、長期的な視点に基づく企業風土への変革に向けて、2023年5月期から中長期経営方針「Great Reset」を推進しております。「Great Reset」の実践を通じて、持続的な成長を目指してまいります。

中長期経営方針「Great Reset」の4つの柱

成長戦略

ビジネスモデル変革

事業継承

社会貢献

»詳細は「p8. 中長期経営方針」をご高覧ください。

成長戦略とビジネスモデル変革を進め、持続的な事業成長とともに高付加価値化を目指してまいります。

中長期経営方針は、「成長戦略」、「ビジネスモデル変革」、「事業継承」、「社会貢献」の4つを柱とする重点戦略を定めて、達成に向けて取り組んでおります。

「成長戦略」では、現在の主要な事業の安定・継続成長に加えて、量子、AI・ロボティクス等、新市場・成長市場向けの事業展開を強化しております。たとえば巨大な市場の形成が期待される量子分野では、2020年から光格子時計関連の国家プロジェクトに参画しております。ノイズの少ない特殊環境を実現するために、独自の脱磁処理技術を通じて非常に低い磁性特性を実現した非磁性＆真空対応製品等のように、高度な技術と高い精度が要求される国家プロジェクトの特殊製品から規格品化すること等を通じて、既存製品の精度向上及び製品ラインナップ増加、新市場への展開等を進めております。

「ビジネスモデル変革」では、(株)アトックス社の「頭部専用PET装置Vbrain®」の受託製造事例のように、特定マーケット向けの完成品及び装置への取り組み事例が増えております。このような事業機会を確実な収益基盤にするため、特定産業用途向けの専門企業等とのコラボレーション企画＆開発を推進し、オリジナリティのある製品の新規開発・早期市場投入とともに、業界構造やお客様の特性・商習慣に合わせた事業のスケール化を図ってまいります。現在の光学部品を提供するビジネスモデルから、光技術を必要と

社長メッセージ

する各産業向けの製品・装置等のアプリケーションにまで拡張し、当社事業の更なる高付加価値化を目指してまいります。

「Great Reset」の主役は人材。

持続可能な経営基盤への転換を目指しております。

「Great Reset」は、目標達成に向けた一時的な対応ではなく、持続可能な経営基盤への転換を目指しております。そして、「Great Reset」を進めるためには、実際の事業活動を担う人材が欠かせません。「事業継承」では、「Great Reset」を担う主役は人材という考えのもと、中核人材の育成を通じた持続可能な企業体制の構築を進めております。

当社では、人材こそ、すべての価値創造の源泉であるという考え方に基づいて、人材育成及び社内職場環境の構築を進めております。その中で、中核人材の育成については、2025年5月期当期から、当社のサクセッションプランに基づく次世代幹部候補を選抜し、集合型研修の開催の他、年数回の重要会議への参加や取締役会での発表機会を設ける等、計画的な育成を開始いたしました。

本取り組みを通じて、取締役会の運営においては、多様な視点の取り込みの他、現場の声を確認できると考えております。次世代幹部候補生においても、私を含む、当社の

役員からのフィードバックによる次世代幹部候補生への経営視点の醸成等、取締役会と次世代幹部候補生の相互にとって、良い刺激になることを期待しております。

社会貢献は当社の存在意義。

シグマ光機のファンが増えたら嬉しいです。

当社は創立当初から、「我社は光産業を通じ、社会に貢献します。」を存在意義としております。「社会貢献」は、事業活動を通じた顧客ニーズ対応だけに止まりません。環境保全及び社会との調和も、社会貢献に向けた当社の重要な役割であると考えております。

環境保全においては、当期の期初に、気候変動の対応を環境活動のベースに位置づけ、当社の環境方針を見直しました。この方針に基づき、全社活動として、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでおります。本取り組みを通じて、単に法令遵守・規制対応の枠組みを超えて、環境保全に貢献する企業を目指してまいります。

社会との調和においては、当社の強みを活かした活動として、教育分野への貢献に取り組んでおります。東京大学を中心に発足した大学院教育プログラム「先端レーザー科学教育研究コンソーシアム（CORAL）」に発足当初から参画し、光学分野を担う次世代人材育成に貢献しております。また、「光」をもっと身近なものと感じてもらう場として、生徒や学生、技術者が意見交換ができる「光の寺子屋」活動を運営しております。さらに、モンゴル国の現地大学の

光学講座開設の支援活動を行う等、新興国における光産業の創出の支援活動も推進しております。

社会貢献活動には、社会課題の気付きと認識が重要と考えております。社会課題に真剣に向き合う中で、ステークホルダーの皆様とより近くに寄り添いたい想いから、公式キャラクター「OPMA（オプマ）」、「KOPMA（コプマ）」が誕生いたしました。公式キャラクターの親しみやすさを活かしながら、産学官の多方面での対話を進め、社会課題を認識し、確実な社会貢献活動を遂行してまいります。シグマ光機の活動に共感していただくファンが少しでも増えたら嬉しい思います。

来る「光の時代」に備えて。

「Great Reset」を完遂し、企業価値向上を目指す。

光技術のニーズは年々拡大しており、更なる成長が予想されております。その中、長期的な視点に基づく「Great Reset」を確実なものとし、持続的な高収益化体质を構築することで、企業価値の向上に努めてまいります。株主様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様におかれましては、これからもご理解とご支援を賜りますよう、お願ひ申し上げます。



当社キャラクター
OPMA（左）とKOPMA（右）

中長期経営方針

シグマ光機グループは、光の時代の到来を迎える中、光技術の可能性を先見し、「光ソリューション・カンパニー」として、今まで世の中になかったものを一つひとつ形にしてきました。そして今、市場環境・技術トレンド・社会情勢等の変化対応力を高めるべく、長期的な視点に基づく企業風土への変革に向けた中長期経営方針「Great Reset」を推進しています。

環境認識

世界経済の先行き
不透明感の高まり

顧客ニーズの
多様化&複雑化

組織の成長

サステナブル経営・
ESG経営の推進

持続的な成長に向けた「Great Reset」

中長期経営方針の4つの柱

成長戦略

ビジネスモデル変革

事業継承

社会貢献

人々の「暮らし」や「いのち」のお役に立つため、長期的な視点に基づく重点戦略を推進。

主要KPI

	2025年5月期 実績	2026年5月期 予算	中長期業績目標
売上高（連結）	11,580 百万円	11,695 百万円	対前年比 +2 ~ 5 % 成長
営業利益率（連結）	9.8 %	10.4 %	15 % 以上
ROE（連結）	5.7 %	※5.0 %	8 % 以上

※2025年5月末時点の自己資本額を元に試算しています。

4つの柱への取り組み

成長戦略 「持続的な成長に向けた主要KPIの達成」

①新市場・成長市場向けの展開強化

- ⇒量子研究関連の特注品の規格品化を推進
- ⇒医療分野でのアプリケーションの開発
- ⇒各種成長産業から引き合い・需要増加中

②既存事業の継続成長



量子



医療・バイオ



AI・ロボティクス

ビジネスモデル変革 「成長のための新しい挑戦・仕組み作り」

①特定マーケット向けオリジナル製品の企画&開発&生産

②専門企業とのコラボレーション企画&開発

- ⇒複数のコラボレーションパートナーとのプロジェクトが進行中



健康ガジェット機器
「グルプレ」



頭部PET装置「Vrain®」
© 株アトックス 2022

事業継承 「次世代経営幹部の育成」

①次世代経営幹部の育成

- ⇒実際の経営判断を経験する機会の拡大による経営視点の強化

②当社オリジナル人材教育研修の拡充

- ⇒経営方針の浸透、人的交流の促進、主体的なキャリア意識の醸成



海外展示会で
人的交流



当社オリジナル研修

社会貢献 「Light Solutions for Life®」

①持続可能な企業活動に向けたサステナビリティ推進

②教育分野＆医療・介護・福祉＆エネルギー関連

- ⇒国内外での理系人材及び光学人材育成の継続
- ⇒当社サプライヤーチェーンのCO2排出量の把握・削減協力要請
- ⇒東京本社の電力契約切替（非化石証書付き電力）



国内外
光学人材育成



環境課題への
取り組み継続

経理・財務担当メッセージ



石井 康之

取締役 管理本部長 兼 経理部長

先行き不透明感が強まる中、将来に向けた事業基盤の強化と安定的な売上高成長を実現。

2025年5月期通期の連結業績は、売上高は前期比3.3%増の11,580百万円、営業利益は同4.0%減の1,131百万円となりました。世界経済は、地政学的リスクの高まり、為替変動、世界各地での通商政策の変化等、先行き不透明感が強まりました。当社においては、要素部品事業は、2024年1月の当社工場拠点の被災による一時的な影響からの反動増の他、中国地域向けの需要の増加等により、総じて堅調に推移いたしました。システム製品事業は、期前半の大口顧客の在庫調整等の影響を受け、総じて軟調に推移いたしました。

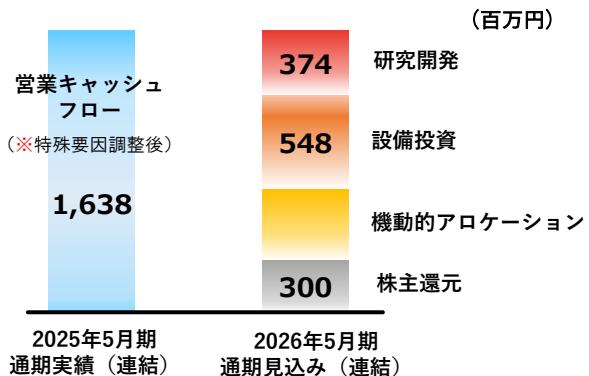
利益面においては、材料費や外注加工費等の外部費用が高水準で推移したことに加えて、中長期的な視点に基づく事業基盤の強化に向けた人的投資及び新工場棟の稼働開始等を進めた結果、人件費や労務費、減価償却費等がそれぞれ増加したこと等により、営業利益は前期比では減少いたしました。

2026年5月期は、電子部品・半導体関連のエレクトロニクス業界において、期後半に向けて緩やかな回復が期待されています。このような中、中長期経営方針「Great Reset」に基づき、人材採用・能力開発等の人的投資や、高精度な加工装置・検査装置の導入、新製品・新技術開発のための研究開発投資、並びに積極的な販路拡大のための海外の主要展示会への出展等の施策を推進してまいります。この結果、次期の連結業績予想につきましては、売上高は今期比1.0%増の11,695百万円、営業利益は同7.9%増の1,220百万円を見込んでおります。

一部需要の落ち込み及び先行投資等によりROEが減少。ROEの改善とPERの向上に努めてまいります。

当社は、持続可能な企業価値向上に向けた重要な指標の1つとして、PBR（株価純資産倍率）を捉えております。PBRは、ROE（自己資本利益率）に、PER（株価収益率）を乗じることで求められます。足元では、一部需要の落ち込みの他、当社の人的投資・新工場棟稼働開始等の先行投資等によって、ROEが減少しております。外部環境の回復が期待される中、先行投資を確実な収益に繋げ、ROEの改善

キャッシュ・アロケーション



*特殊要因： 仕入債務の増減額（電子記録債務支払手形による支払いをすべて銀行振込に見直したことなどによる減少）、災害損失引当金の増減額、災害による損失の支払額

に努めてまいります。また、PERについては、資本市場からの適切なご評価の獲得に取り組んでまいります。統合報告書等を通じて、当社事業内容のご理解を促進するとともに、当社の中長期戦略に関する情報開示を充実する等、対話を進めてまいります。対話の中でいただいたご意見等を社内にフィードバックし、経営の強化を図ってまいります。

獲得した資金の配分（キャッシュ・アロケーション）については、成長戦略に基づく事業投資の他、配当性向30%を目指とした安定配当等を進めてまいります。手元資金は月商の約4ヵ月分と財務健全性を維持しておりますが、最適な資本構成への見直しを進め、事業投資の増加、M&Aやアライアンス、株主還元の強化等、機動的なアロケーションを検討してまいります。持続的な企業価値向上を目指してまいりますので、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

価値創造プロセス

シグマ光機は、経営理念の実現に向けて、蓄積してきた資本を最大限活用（INPUT）した事業活動（ACTIVITIES）を行っています。

長期的に目指す姿（IMPACT）から逆算した価値の創出（OUTCOME）を実践し、更に資本の投入・増強のサイクルを回すことで、持続的な企業価値の向上を目指していきます。

INPUT

資本の投入

▶ P12

財務資本

製造資本

知的資本

人的資本

環境資本

社会関係資本

ACTIVITIES 事業活動

経営理念

我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

マテリアリティ

「社会課題を解決する付加価値の高い製品の提供」
「社会に信頼され持続的に成長する経営基盤の構築」
「人材を活かし働きがいのある組織と風土の醸成」
「気候変動に配慮した地球環境の保全への取り組み」
「人と暮らしを豊かにする持続可能な社会基盤の構築」

▶ P17

中長期経営方針

「成長戦略」「ビジネスモデル変革」「事業継承」「社会貢献」

▶ P9

社風（社是）

「感謝」・「挑戦」・「創出」

ビジネスモデル

光学要素部品・光学システム製品の開発・設計・製造・販売

▶ P5

OUTPUT 活動結果

社会課題の解決を進める光ソリューションの創出・提供

OUTCOME 活動による創出価値

当社の業績・社会的成果

▶ P12

新たなニーズ・課題

IMPACT 目指す姿（社会への影響）

持続的な光技術の革新を通じて
「くらし」や「いのち」を支え、
持続可能な社会の実現を目指します。

安全

- 超高精度時間計測による災害予測向上
- 宇宙観測による地球への影響予測
- 量子技術による安全な通信の実現

安心

- 先端光技術による病気予防・診断・治療
- 光技術による非侵襲医療機器開発
- 光技術による小型介護支援機器開発

快適

- AI・ロボティクスによる自動化
- 高精度の加工・検査装置の開発
- 量子コンピューティングの実現

環境

- 光技術による消費電力の効率化
- クリーンエネルギーによるCO2削減
- 省エネルギーの多様化と有効活用

資本の増強

価値創造プロセス

INPUT

資本の投入（2025年5月期連結実績）

財務資本	堅実性と積極性を兼ね備えた財務戦略の実行により、強固な財務基盤を維持しつつ、キャッシュ創出力を強化。	
	自己資本	17,667 百万円（連結） (自己資本比率： 86.9 %)
製造資本	生産拠点数	4拠点（国内3 + 海外1）
	設備投資額	417 百万円（連結）
知的資本	研究開発費 (内訳) 要素部品事業 (内訳) システム製品事業	335 百万円（連結） (売上高構成比率： 2.9 %) 208 百万円（連結） 127 百万円（連結）
人的資本	従業員数 従業員数 女性管理職比率	544 人（連結） 384 人（単体） 7.9 %（単体）
環境資本	電力使用量 CO2排出量	5,243 MWh（単体） 2,044 (t) (Scope1+2)
社会関係資本	主な活動例 ・光技術者育成（※CORAL参加） ・光の寺子屋（社会人向けセミナー等）	

※CORAL：先端レーザー科学教育研究コンソーシアム。東京大学等の単位取得が可能な講座。

OUTCOME

活動による創出価値（2025年5月期連結実績）

財務資本	営業利益率	9.8 %（連結）
	ROE	5.7 %（連結）
	年間配当総額	297 百万円（連結）
製造資本	売上高	11,580 百万円（連結）
	棚卸資産	9,380 百万円（単体）
知的資本	特注製品の 売上高構成比	2,960 百万円（連結） 52.0 %（単体）
人的資本	一人当たり売上高	21 百万円（連結）
	労務費+人件費の増減率 (対前年同期比)	+9.0 %（連結）
	年次有給休暇取得率	77 %（単体）
環境資本	売上高当たり CO2排出量	0.218 t/百万円（単体）
	再生可能エネルギー 発電量	557 MWh（単体）
社会関係資本	教育活動実施（CORAL、光の寺子屋） 事業活動を展開する地域での雇用継続 地方自治体への納税	

要素部品事業

光を扱うために必要な部品やユニット製品です。

レーザ光の集光・反射等に利用するレンズやミラー、それらを固定させるホルダーや微細な位置決め用の手動ステージ、遠隔操作や自動操作のための電源やソフトウェアを追加した位置決め用の自動ステージ等を提供しています。

■ 主要製品



光学素子・薄膜製品



光学基本機器製品



自動応用製品

ミラー、レンズ、プリズム等
光の形状や向きを変えたり、
必要な光を取り出すための
ガラス製品＆結晶製品

光学素子・薄膜製品の固定や
対象物の微細な位置決めを
するホルダー、ステージ等の
金属加工製品

光学基本機器製品にモータや
コントローラ等をつけて、
遠隔操作・自動制御等を可能
にした制御機器製品

■ 主な用途



半導体等の産業装置向け



バイオ等観察用途



通信関連調査装置



その他最先端研究向け等

■ 業績サマリー（連結）

通期実績

(単位：百万円)

■光学基本機器製品 ■自動応用製品
■光学素子・薄膜製品

	2024年5月期	2025年5月期
9,177	9,734	
2,706	2,978	
1,870	1,859	
4,600	4,896	

2024年5月期 2025年5月期

半期推移

(単位：百万円)

■光学基本機器製品 ■自動応用製品 ■光学素子・薄膜製品

	2024年5月期 上期	2024年5月期 下期	2025年5月期 上期	2025年5月期 下期
4,674	4,503	4,733	5,001	
1,413	1,292	1,421	1,557	
975	895	862	997	
2,284	2,315	2,449	2,446	

2024年5月期
上期 2024年5月期
下期 2025年5月期
上期 2025年5月期
下期

■ 2025年5月期の概況

光学基本機器製品は、昨年度の当社工場拠点の被災による一時的な影響からの反動増の他、中国地域向けの需要回復を背景に堅調に推移いたしました。自動応用製品は、バイオ業界向けにおける一部の大口顧客向け等が軟調に推移いたしました。光学素子・薄膜製品は、中国地域向けの需要は回復基調で推移したもの、国内エレクトロニクス業界における一部の顧客向けの需要が減少しましたが、当事業セグメントは総じて堅調に推移いたしました。

■ 2026年5月期の見通し

要素部品事業においては、中国地域及び欧州地域の持ち直しの動き並びに電子部品・半導体業界向けの緩やかな回復基調等を背景に、需要増加が見込まれております。また、2025年の1月に実施した価格改定の効果、及びバイオ業界向けにおける一部の大口顧客向けの在庫正常化等により、全体として緩やかな回復を見込んでおります。その中、積極的な販路拡大のための海外の主要展示会への出展等の販売促進活動の他、持続的な事業拡大に向けた人材採用・能力開発等の人的投資や、高精度な加工装置・検査装置の導入等を推進し、成長性の高い有力市場向けのOEM・ODM案件の創出に積極的に取り組み、収益の拡大を図ってまいります。

システム製品事業

シグマ光機の総合力を活かしたシステム製品です。

光学要素部品で培った製造技術と、レーザ応用分野での豊富な実績で、測定・検査用途、評価・分析用途、生産・加工用途に至るまで、研究・開発用、産業用として多方面で採用されています。

■ 主要製品



©(株)アトックス 2022

光学システム製品

研究開発分野から産業用途まで、光技術を応用したシステム製品を設計・開発・製造しています。



光学モジュール・光学ユニット製品

様々な装置や機器等への組み込み用途として、モジュール及びユニット製品を提供しています。

■ 主な用途



半導体等の産業装置向け



バイオ等観察用途



医療・介護関連

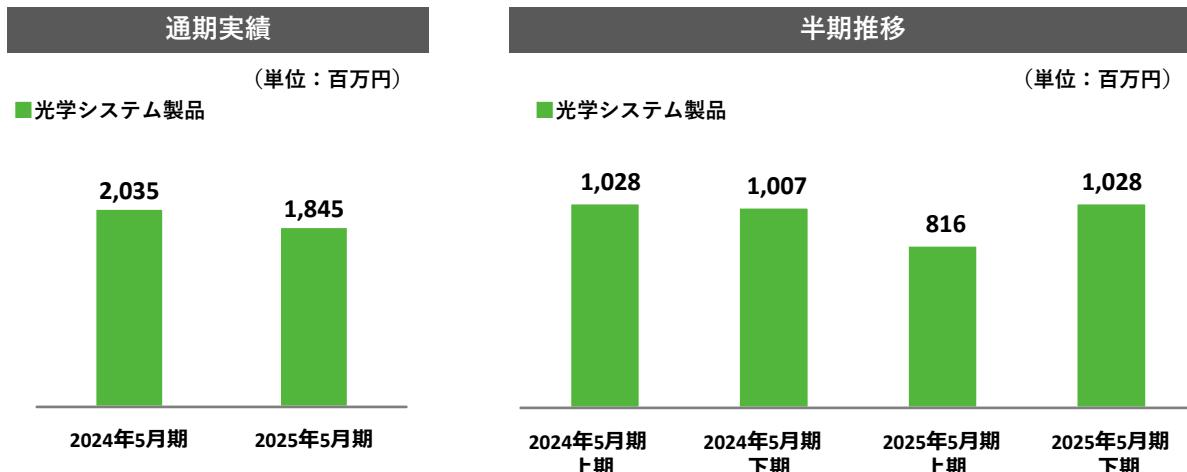


航空・宇宙



その他

■ 業績サマリー（連結）



■ 2025年5月期の概況

電子部品・半導体業界向け及びフラットパネルディスプレイ業界向けでは、期前半では、製造装置・検査装置への組み込み用途の光学ユニット製品及び光学システム製品が大口顧客向けの在庫調整等の影響を受け、軟調な推移となりましたが、期後半からは緩やかな持ち直し基調で推移いたしました。医療業界向けでは、大口顧客向けが堅調に推移いたしましたが、当事業セグメントは総じて軟調に推移いたしました。

■ 2026年5月期の取り組み

システム製品事業においては、電子部品・半導体業界向けの緩やかな回復基調等を背景に、電子部品・半導体業界向けの製造装置・検査装置への組み込み用途の光学ユニット製品及び光学システム製品の需要が回復基調で推移すると見込んでおります。このような中、持続的な事業拡大に向けた人材採用・能力開発等の人的投資や、新製品・新技術開発のための研究開発投資等を継続し、当社コア技術の融合・複合を推進するとともに、产学研官連携や業界専門企業との協業等に取り組み、高品質・高付加価値製品の更なるラインナップの拡充を進めてまいります。

サステナビリティ担当メッセージ



本多 隆

執行役員 総務部長 兼 経営企画グループリーダー

「マテリアリティ」を特定し、取り組みを推進。

当社は、「我社は光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念を「真のものづくり」を通じて実現してまいりました。このような事業活動を更に持続可能な形にするため、長期視点に基づく中長期経営方針「Great Reset」を掲げ、全社的な取り組みを推進しております。

2025年5月期には、シグマ光機グループが持続的に社会に貢献し続けるための重要な項目「マテリアリティ」として、「社会課題を解決する付加価値の高い製品の提供」、「社会に信頼され持続的に成長する経営基盤の構築」、「人材を活かし働きがいのある組織と風土の醸成」、「気候変動に配慮した地球環境の保全への取り組み」、「人と暮らし

を豊かにする持続可能な社会基盤の構築」を特定いたしました。本マテリアリティは、シグマ光機グループの事業戦略の中核に据えて、全社的な取り組みとして推進しております。

E（環境）：安全安心な暮らしの実現を目指します。

2025年5月期には、気候変動への対応を環境活動へのベースとして位置付けて環境方針を見直しました。主に経済活動によるGHG排出量の増加等が原因とされる気候変動リスクは、現実的に起こり得るシナリオです。最悪なシナリオを回避し、地球環境を持続可能にするために、新しい環境方針に基づく全社的なGHG排出量の削減に取り組んでおります。また、GHG排出量の削減については、当社に限定せず、仕入先様を含むサプライチェーン全体として取り組んでいくために、仕入先様の現状把握を開始いたしました。今後も、ステークホルダーの皆様と対話をしながら、安心安全な暮らしの実現に向けた環境保全活動を推進してまいります。

S（社会）：多様性を尊重する組織カルチャーに挑戦。

先行きが見通せず、環境変化が激しい時代。環境変化の兆しをつかみ、素早く適応していくために、多様な人材が個性を発揮できることが重要と考えております。このことから、すべての従業員の個性発揮に向けて、各従業員が自分らしい働きができる職場環境の構築を目指しております。2025年5月期には、多様性の推進を含む社内研修等による人材育成を推進したとともに、従業員のやりがいを育

む人事評価と賃金アップを含む人事制度の見直し等を行いました。引き続き社内制度の整備及び職場環境の向上に取り組むとともに、異なる視点や価値観等の多様性を尊重する組織カルチャーに挑戦してまいります。

G（ガバナンス）：より高いレベルの経営管理体制へ。

昨年度（2024年5月期）から、セット・ジョン独立社外取締役が当社の取締役会に加わったことで、取締役会の役員構成の多様化が進みました。取締役会の運営においても、議論が活発になる等、充実化が図られました。2025年5月期に実施した取締役会の実効性評価では、過年度からの改善が確認できましたが、議論を更に充実させるために、取締役会運営の効率化など、より高いレベルでの実効性発揮に向けた課題も明らかになりました。このような課題に真摯に取り組み、継続して強固なガバナンス体制の構築・維持に努めてまいります。

未来起点で、価値創造活動の最大化を目指します。

サステナビリティは、今を越えて、将来に亘る持続可能性を目指しております。未来の環境変化による事業機会とリスクに対応するため、財務資本や製造資本だけではなく、人的資本・知的資本・環境資本・社会関係資本等の無形資本の蓄積・活用が必要です。シグマ光機の中長期経営方針「Great Reset」に基づき、未来起点からの事業機会・リスクに対応したサステナビリティを推進し、事業を通じた価値創造活動の最大化を目指してまいります。引き続きのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

サステナビリティ

シグマ光機グループは、「光ソリューション・カンパニー」として、すべてのステークホルダーから信頼され、かつ持続的に企業価値を向上させることを目的として、「サステナビリティ基本方針」「シグマ光機行動規範」を定めています。この基本方針・行動規範の下、社会課題解決及び持続可能な社会への貢献に向けて、適切かつ誠実な企業活動を推進しています。

サステナビリティ基本方針

シグマ光機グループは、「我社は光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念のもと、その実践を通じて社会課題の解決と持続可能な社会の実現への貢献に取り組んでいます。

1. 社会の持続可能な発展への貢献
2. 健全な企業活動
3. 人権の尊重
4. 自然環境の保全
5. 社会との調和

詳細はこちらからご覧ください。

<https://www.sigma-koki.com/sustainability/sustainability-policy/>

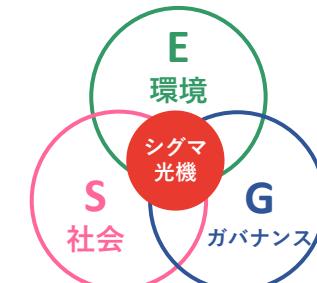


サステナビリティへの取り組み

ESG 「Environment（環境）」、「Social（社会）」、「Governance（企業統治）」の3つの軸に基づいて、サステナビリティ活動を推進しています。

詳細はこちらもご覧ください。

<https://www.sigma-koki.com/sustainability/>



サステナビリティ推進体制

サステナビリティ推進に関するグループ全体の取り組みを効率的に推進するため、経営会議の配下に、「サステナビリティ委員会」を設置しています。「サステナビリティ委員会」は、原則として半年に1回開催され、活動状況を「経営会議」に報告し、重要事項については、取締役会に諮っていきます。これらの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現及び当社グループの持続的な企業価値の向上を目指していきます。

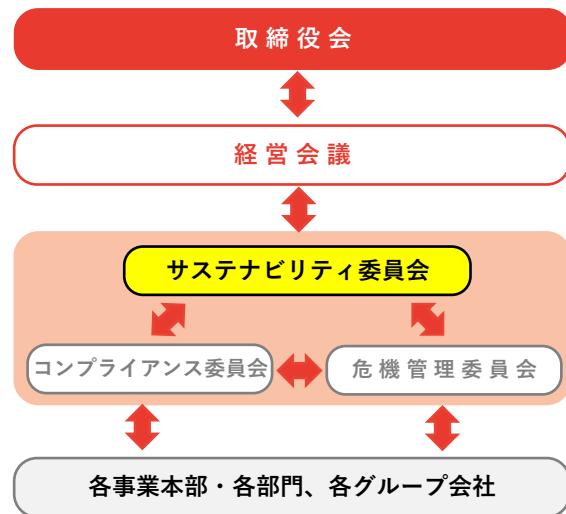
サステナビリティ委員会

構成メンバー

議長： 代表取締役社長
構成員： 常勤取締役、執行役員、各事業部門長
事務局長： 管理本部経営企画G

主な活動内容

- サステナビリティ推進に関する基本方針の策定
- サステナビリティ推進上の重要課題について協議・立案
- サステナビリティ推進活動の実施状況の把握、監査
- サステナビリティ推進に関する情報の集計及び管理等



サステナビリティ推進体制図

リスク管理

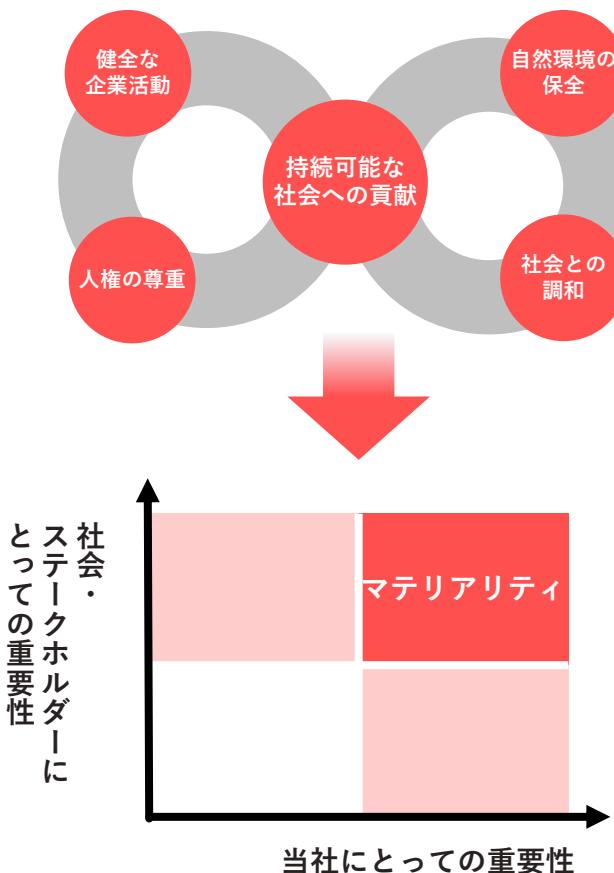
全てのリスクの予防・極小化に向け、経営会議の配下に、代表取締役社長を委員長とする「危機管理委員会」並びに「コンプライアンス委員会」を設置しています。両委員会は、四半期に1回及び必要に応じて臨機に開催され、重要課題については、協議内容を「経営会議」へ報告しています。「経営会議」で協議・承認された内容は、事業活動を通して対応しています。事業リスクに関する個別テーマについては、担当部門がリスクを認識・把握するとともに、管理部門を中心として組織横断的な対応を図っています。

マテリアリティ

シグマ光機グループにとってのマテリアリティ（重要項目）とは、シグマ光機グループが持続的に社会に貢献し続けるための重要な項目です。

社会環境の変化及びステークホルダーからの期待や、当社グループの事業状況及び経営陣や従業員の想い等、2つの軸で課題を分析し、サステナビリティに関するマテリアリティの優先順位を決定しました。本マテリアリティは、当社グループの事業戦略の中核に据えており、現場の活動とも深くつながっています。

マテリアリティの主要テーマ



サステナビリティ 基本方針

マテリアリティ

取り組み

持続可能な 社会への貢献

社会課題を解決する
付加価値の高い製品の提供

ソリューション提案力の強化（生産・販売・技術の連携）
顧客ニーズ探索力&深化力の強化（販売・技術）
Q・C・D+R+S+Q※を満たす柔軟な生産体制の構築（生産）

健全な 企業活動

社会に信頼され持続的に
成長する経営基盤の構築

コーポレートガバナンスの強化
リスクマネジメント/コンプライアンスの徹底
サプライチェーンマネジメントの強化

人権の尊重

人材を活かし働きがいのある
組織と風土の醸成

従業員エクスペリエンスの向上
従業員の安全と健康の確保
人権の尊重・多様性の推進

自然環境の保全

気候変動に配慮した
地球環境の保全への取り組み

気候変動への取り組み
環境に配慮した製品・技術開発
環境保全活動

社会との調和

人と暮らしを豊かにする
持続可能な社会基盤の構築

社会課題解決への取り組み推進（医療・介護・ウェルネス）
光学人材・理系人材の育成（教育機関との連携推進）
地域社会との調和

※Quality（品質）、Cost（費用）、Delivery（納期）、Response（レスポンス）、Service（サービス）、Quantity（量）の頭文字。

環境への取り組み

シグマ光機グループは、「常に持続可能な社会への貢献を意識した経営を行います。」という経営理念のもと、ISO14001：2015年版の認証を取得しており、「環境方針」を策定しています。「環境方針」の下、「地球環境保全」と「社会貢献」の視点から、常に地球環境を意識した挑戦と継続的な改善に取り組んでいます。

環境方針（一部抜粋）

- 1. 経営理念・方針に従う
- 2. 順守義務
- 3. 汚染予防・環境保護
- 4. 継続的改善
- 5. 社会貢献

「環境方針」の詳細はこちらからご覧ください。

<https://www.sigma-koki.com/sustainability/environment/quality-policy/>



環境関連データ一覧表（単体）

環境関連データ		※ ₁ 2023年	2024年	2025年
全社	※ ₂ 電力消費量	kWh	5,778,611	5,005,297
	うち電力会社による消費量	kWh	5,493,408	4,702,532
	コピー用紙消費量	枚/A4換算	1,303,359	1,186,850
	廃棄物量	kg	37,957	33,956
	燃費 給油量	ℓ	14,216	15,024
※ ₃ 本社・日高工場	LPガス使用量	m ³	4,305	4,156
	水道使用量	m ³	7,897	9,826
	工場排水(※ ₄ BOD値)	最終ℓ (平均値)	20.7	18.9

※₁ 記載年における前年4月1日～当年3月31日の実績を集計しています。

※₂ 契約電力会社を通じた電力消費量及び再生可能エネルギーの発電による電力消費量を含めています。

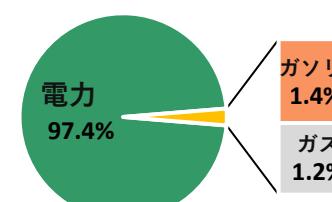
※₃ 全社環境データのうち、本社・日高工場がほとんどを占める項目は、本社・日高工場データを管理しています。

※₄ BOD=生物化学的酸素要求量。水質指標の一つ。許容限度(25mg/ℓ)を超えないように、適切な管理を行っています。

気候変動への取り組み

気候変動に伴う環境変化リスクに対応すべく、脱炭素社会の実現を目指して、温室効果ガス(CO₂)の排出量の削減に取り組んでいます。再生可能エネルギーの導入や、業務効率化及び省エネ・省資源の推進、並びに会社保有車両の台数低減等に取り組み、温室効果ガスの排出量を削減していきます。

CO₂排出量実績（単体）

	※ 2024年	2025年	増減率	2025年CO ₂ 排出量内訳（単体）
CO ₂ 排出量(合計) (t)	2,242	2,044	△ 8.8%	 電力 97.4% ガソリン 1.4% ガス 1.2%
Scope 1 (t)	62	52		
Scope 2 (t)	2,180	1,992		
(参考)再生可能エネルギーによる発電量のCO ₂ 換算値 (t)	138	245	+77.5%	

※ 記載年における前年4月1日～当年3月31日の実績を集計しています。

CO₂削減 (Scope2) 非化石証書付き電力の導入

2025年4月から東京本社の電力を非化石証書付き電力へと転換しました。今後も、CO₂の排出量の低減に積極的に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

※本電力切り替えによる当社グループのCO₂排出量への貢献は、2026年（2025年4月1日～2026年3月31日）から反映される予定です。

CO₂削減 (Scope3) サプライチェーンのCO₂排出量等の現状把握を開始

2025年1月から、重要仕入先様を対象に、CO₂排出量等を含むサステナビリティ調査を開始しました。持続可能な社会の実現のためには当社のみならず、パートナーであるお取引先様と共に、製品の品質・性能に加えて、ESGに関する取り組みを推進していくことが不可欠であると考えています。本取り組み等を通じて、サプライチェーン全体におけるサステナビリティの向上を目指していきます。

社会への取り組み

人材育成に関する取り組み

シグマ光機は、「人材」こそ、すべての価値創出の源泉であるという考え方に基づき、ジェンダー・年齢等に関わらず、すべての従業員一人ひとりがそれぞれの個性と能力を最大限発揮し、やりがいを持って働き続けることを目指して、様々な取り組みを進めています。

女性活躍推進

女性活躍の支援と女性目線から職場環境改善



▲女性社員向け研修

女性人材のキャリアアップへの意欲向上と知識の習得、ネットワーク構築を図るとともに、仕事と家庭を両立できる環境整備を目的に、WWS（働く女性サミット）を実施しています。WWSでは、女性目線での会社制度や設備等に対する意見交換を行い、女性をはじめとする全ての従業員がいきいきと働ける環境づくりを進めています。

社会関連データ一覧（単体）

		2025年5月期
女性管理職比率		7.9 %
女性の育児休業取得率		100.0 %
男性の育児休業取得率		100.0 %
男女の賃金の格差 ※男性の賃金に対する女性の賃金の割合を示しています。	全労働者	67.1 %
	正規雇用労働者	68.8 %
	非正規雇用労働者	113.3 %
正規雇用労働者の中途採用比率		80.6 %
採用人数女性比率	全労働者	56.8 %
	新卒採用	100.0 %
	中途採用	46.7 %
連結グループ子会社・関連会社役員経験者比率 ※当社副部長以上の中でも、当社グループ子会社・関連会社役員兼任者及び過去1回以上兼任経験者の比率となります。		36.8 %

社内環境整備への取り組み

新たな価値創出に絶えず挑戦する企業風土の醸成に向けて、社内制度の変革、IT活用等による業務プロセスの改善・業務効率化等、挑戦が評価される組織を目指しています。また、安全面のリスク管理や、年次有給休暇及び育児・介護休暇の取得促進、定期健康診断やストレスチェックの実施とフォローアップ等、心身ともに健康で、働きやすい社内環境整備に取り組んでいます。

方針策定

「安全衛生方針」を策定しました

労働災害防止及び従業員の健康維持の促進のため、安全衛生方針を策定しました。安全はすべてに優先するとの理念に基づき、安全衛生活動方針を定め、安全と健康を確保するために安全衛生活動の推進に努めます。

「安全衛生方針」の詳細は[こちらからご覧ください。](https://www.sigma-koki.com/sustainability/social/employee/)

<https://www.sigma-koki.com/sustainability/social/employee/>



人事制度改正

やりがいを育む人事評価・賃金制度の構築（単体）

2025年5月期は、最低賃金の上昇及び物価上昇等を背景に、従業員エンゲージメントの向上や採用力の強化等に向けて、従業員一人ひとりがやりがいを持ってイキイキと働くことができるよう、人事評価や賃金テーブル等、人事制度を改定しました。今後も、外部環境変動に対応しつつ、社員と会社との信頼関係の改善・強化に取り組んでいきます。

次世代育成

光の寺子屋

将来の光技術者育成のための教育支援活動展開

長年培ってきた光学知識等を活かして、光技術者の育成に向けた教育支援活動を展開しています。CORAL(※)の開設時から講義・実習に参画しており、社会人生涯学習センター及び個別企業でレーザ安全セミナー等を開催している他、小・中学生向けの課外学習等を実施しています。



◀東京大学でのCORAL(※)実習

※CORAL：先端レーザー科学教育研究コンソーシアム。
東京大学を中心とした単位取得が可能な講座。



当社は「光」をもっと身近なものと感じてもらう場として、
「光の寺子屋」活動を運営しています。

ガバナンスへの取り組み

シグマ光機グループは、コーポレートガバナンス基本方針のもと、適正かつ実効性の高い経営体制を構築・維持・改善することで、持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。

コーポレートガバナンス推進体制 (2025年8月28日現在)

機関設計	監査役会設置会社
取締役の任期	1年
執行役員制度	採用（雇用型）
取締役会の下部組織	経営会議
取締役会の任意委員会	任意の指名委員会 任意の報酬委員会を設置
会計監査人（在任期間）	太陽有限責任監査法人（3年）

※1 定款上の取締役の員数は10名以内

※2 定款上の監査役の員数は4名以内

詳細は、下記の当社ホームページにてご確認ください。

<https://www.sigma-koki.com/sustainability/governance/corporate-governance/>



スキルマトリクス

取締役会の実効性の確保に必要なスキル（知識、能力、経験等）を以下のとおりとしました。

職位	氏名		管掌分野	企業経営	生産・技術・研究開発	営業・企画・マーケティング	財務・会計・ファイナンス	人事・労務・人材育成	法務・ガバナンス・リスクマネジメント	ICT・デジタル戦略・DX	国際ビジネス・グローバルゼーション	ESG・サステナビリティ・多様性
取締役	近藤 洋介	業務執行	経営全般	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	石井 康之	業務執行	財務・会計・人事・法務・IT				●	●	●			
	多幡 能徳	業務執行	生産	●	●		●					
	小澤 勉	社外			●							
	野崎 誠	独立・社外		●			●					
	松尾 祐美子	独立・社外						●		●	●	
	セッテ ジイヨン	独立・社外		●	●					●	●	
監査役	上野 健司	常勤・社外					●	●				
	南雲 幸一	社外		●				●	●			●
	熊崎 美杉	独立・社外					●	●				

※上記一覧表は、各人の有するすべての知見や経験を表すものではありません。

取締役会の実効性評価の実施

当社は、取締役会に期待される機能が適切に機能しているかを分析・評価し、継続的な改善を図っていくために、毎年各取締役及び各監査役に取締役会の実効性に関する記名式のアンケート調査を実施しています。アンケートの評価結果については、取締役会に報告し、取締役会の更なる機能向上に取り組んでいます。

実施方法

評価対象： 当社取締役 全体

評価方法： 自己評価による取締役会の実効性に関する評価を実施

アンケート項目：

- 会社の機関設計
- 取締役会の構成
- 取締役会の運営
- 取締役会の支援体制
- ステークホルダーとの対話
- その他（自由記入）

評価結果の概要

(2025年5月期)

今回のアンケート評価結果の概要は以下の通りです。

- ① 取締役会の実効性が概ね確保されている。アンケート項目の全てにおいて前回の平均点を上回った。一部の項目では、一段上を目指して更なる改善が必要等の提言を受け、改善活動の方向性を認識した。
- ② 「取締役会の構成（スキルアップ、任意の委員会活動の充実）」、「取締役会の運営（付議事項の質と量の見直し）」、「取締役会の支援体制（役員向けのトレーニング）」、「その他（グループガバナンスの強化）」、等では改善の余地がある。

今後の取り組み：

- 全社及び事業部門・グループ各社の中期経営目標の達成状況やその対応策に関する議論の充実
- 任意の指名委員会の定期的な開催と機能の拡充（役員候補の経営幹部への早期教育の開始等）
- 任意の報酬委員会の定期的な開催と機能の拡充（役員報酬体系の見直し等）
- グループ会社の経営陣へのガバナンス教育並びにグループ会社管理の専任部署・人材の設置の検討
- 社外役員と経営トップや事業部門トップとの面談の機会の増加

【特集】社外取締役Q&A

シグマ光機は、取締役の過半数が社外取締役（取締役7人中4人、うち独立社外取締役3人）となっており、専門スキル、経歴、性別・国籍等、役員構成の多様化が進んでいます。今回は、当社の社外取締役の皆様に、当社の現状評価及び、これから当社に求められること（課題や期待等）等について、聞いてみました。

Q：光学業界に属する当社の成長性について

小澤 勉

社外取締役

光学業界では、今後も量子が重要であることは変わらないと考えております。その中で、当社の強みは要素技術開発に使われる製品を主力としていることで、お客様の基礎研究から応用研究にまで参加し、量子技術開発に貢献することが期待できます。社外取締役としては業界トレンド及び営業情報等を考慮した上で、短期的だけではなく、中長期的に、どこに、どのように資源を投資していくべきかについて、外部の視点も踏まえて議論してまいります。

Q：資本コストと株価を意識した経営について

野崎 誠

社外取締役（独立）

上場企業には資本コストや株価を意識して企業価値向上に取り組むことが求められています。当社ではROEなどの中長期的な数値目標を掲げ、成長に向けた積極投資や生産効率化などを進めるなど、企業価値向上・創出に取り組んでおります。これからはPBRやROEといった定量的な指標の活用に加え、収益性など、当社の現状分析や評価の精度を高め、課題を可視化し、対策検討をより充実させることが大切だと考えます。今後も持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

Q：コーポレートガバナンスの向上について

松尾 祐美子

社外取締役（独立）

当社では、社外取締役及び社外監査役が専門的知見に基づき、重要事項で積極的な議論や意見表明を行っており、監督体制の実効性は格段に向上したと評価しております。今後の課題は、資本コストを意識した中長期的な経営戦略について、中期経営目標の達成状況と対応策に関する議論を充実されることです。また、グループガバナンスの強化にも注力が必要です。引き続き、厳正な監督機能を通じて、ガバナンスの透明性向上に努めてまいります。

Q：今後のグローバル展開について

セット ジイヨン

社外取締役（独立）

グローバル市場の拡大が進む中、当社の高い光学技術力は海外においても大きな競争優位性を有しております。今後は、グローバルでのブランド力・マーケティング活動を一層強化するとともに、新たな市場や用途への積極的な展開が重要です。社外取締役として、取締役会において戦略の実効性を注視し、株主の皆様の利益に資する成長機会の創出に貢献してまいります。

拠点一覧

JAPAN

Business Strategy, Financing,
Technical Development



東京本社



〒130-0021 東京都墨田区緑1-19-9
TEL : 03-5638-6551 (代)
FAX : 03-5638-6550
[営業]E-mail : sales@sigma-koki.com
[総務]E-mail : info@sigma-koki.com

能登工場 (石川県先端産業条例指定工場)



〒925-0375 石川県羽咋郡志賀町若葉台62-1
能登中核工業団地内
TEL : 0767-38-1114 (代)
FAX : 0767-38-1651

本社・日高工場



〒130-1297 埼玉県日高市下高萩新田17-2
TEL : 042-985-6221 (代)
FAX : 042-985-6561

大阪支店



〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-9-28
TAIYO センタービル6F
TEL : 06-6307-4835 (代)
FAX : 06-6307-4834
E-mail : sales.osaka@sigma-koki.com

九州営業所



〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-17-25
TEL : 092-481-4300 (代)
FAX : 092-481-4310
E-mail : sales.kyushu@sigma-koki.com

■関連企業

タックコート株式会社

■ タックコート株式会社

〒395-0807 長野県飯田市鼎切石4144-5
TEL : 0265-21-2211 / FAX : 0265-21-2088
光学薄膜製品の製造・販売

LMS株式会社

■ LMS株式会社

〒924-0838 石川県白山市八束穂1-1
石川ソフトリサーチパーク内
TEL : 076-274-6100 (代)
FAX : 076-274-6103

〒924-0838 石川県白山市八束穂1-1
石川ソフトリサーチパーク内
メディカル・ヘルスケア業界向け医療機器並びに
光学・電気機器などの開発・製造・販売

グローバルネットワーク・グループ会社

シグマ光機グループは、グループの総合力を活かして、着実な成長を遂げています。市場の拡大傾向が続く各エリアでは、様々な市場ニーズに応えて、高品質な製品の提供に取り組んでいます。



2025年5月期実績

売上高（連結）

11,580百万円

海外売上高比率

35.3%

地域別売上高構成比

アジア

13.2%

欧州

7.9%

米国

12.7%

その他

1.5%

日本

64.7%

アジア・オセアニア

OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.

83 Science Park Drive, #02-01, The Curie, Singapore 118258
TEL : +65 6909 9318 / FAX : +65-6909-9330
E-mail : sales@optosigma-sea.com



米国

OptoSigma Corporation

1540 Scenic Avenue, Suite 150 Costa Mesa,
CA 92626, U.S.A.
TEL : +1-949-851-5881 / FAX : +1-949-851-5058
E-mail : sales@optosigma.com



欧州

OptoSigma Europe S.A.S.

3 rue de la Terre de Feu, 91940 Les Ulis, Essonne, FRANCE
TEL : +33-1-6918-1700 / FAX : +33-1-6010-0929
E-mail : sales@optosigma-europe.com



OptoSigma Germany GmbH

Fürstenrieder Str. 279a, 81377 Munich, Germany
TEL : +49-89-12086833
E-mail : g.sales@optosigma-europe.com

SHANGHAI SIGMA KOKI CO., LTD.

3355 JIN DU ROAD, XINZHUANG INDUSTRIAL ZONE,
MINHANG, SHANGHAI 201108 CHINA
TEL : +86-21-5442-4309 / FAX : +86-21-5442-2758



Topics

長寿社会・健康促進の実現に向けて、医療分野への企画・開発・生産及び専門企業とコラボレーションを推進しています。

(株)アトックス社 「頭部専用PET装置Vrain®」 の受託製造

世界で初めて半球状の検出器配置を採用した頭部検査に特化した
高精度な小型ヘルメット型の「頭部専用PET装置Vrain®」の製造を受託。



© (株)アトックス 2022

「頭部専用PET装置Vrain®」の特長

- ①脳腫瘍やてんかんの検査
- ②アルツハイマー病をはじめとする認知症の診断に期待

当社が有する高精度・高品質の精密加工・検査装置の生産技術を
高くご評価いただいている。

「頭部専用PET装置Vrain®」の詳細はこちらもご覧ください。
<https://www.sigma-koki.com/business/collaboration/pi-20220118/>



オキサモーター OTLS-01

医療機器製造販売企業と当社が持つ光技術の協働によって開発した管理医療機器です。
(医療機器認証番号 303AFBZX00103000)

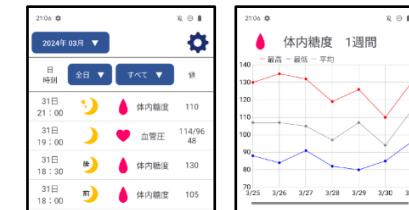


「パルスオキシメーター」と「皮膚赤外線体温計」が一体化！
1台で2つの健康チェックが可能です。

グルプレーメーター GPLS-01

当社独自で開発した電子機器製品（健康ガジェット品）です。

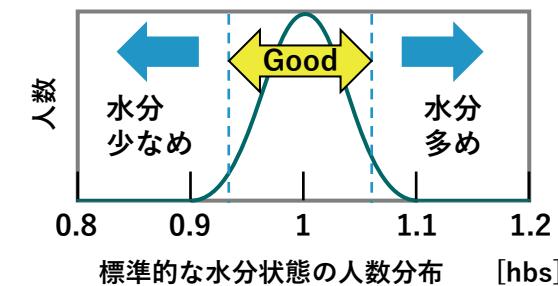
「体内糖度」と「血管圧」を測定！！



「Google Play」に
Android専用アプリも登録！

体水分計 HBLS-01

当社独自で開発した電子機器製品（研究用）です。



指を挟むだけで
血管中の
水分量を測定できます。

ブランディング

「光産業を通じ、社会に貢献します。」という経営理念の実現に向けたグローバル戦略の一環として、様々なステークホルダーの皆様に当社グループの価値観をお届けするブランド戦略を展開しています。

「OPMA(オプマ)」「KOPMA(コプマ)」 公式キャラクター



▲当社キャラクター
OPMA（左）とKOPMA（右）

テーマソングもあります♪
こちらよりご確認ください。



世界を旅するさすらいのペア

- 名前の由来：「Optical Product Manufacturing Alliance」、
「Key Optical Product Manufacturing Alliance」の頭文字。
「光学のものづくりに関わる皆様ともっと近く寄り添いたい」
という想いから生まれました。
- 誕生日： 4月11日（当社創立記念日）
- 趣味： 食べ歩き、鮭のアレンジ料理、柔道、人間（動物）観察
- 好きなもの： 鮭（これ1番）、お酒（日本酒、ワイン、焼酎etc）、お米料理
世界196か国上陸
- 夢： 動物（人間も）大好きでおしゃべり。永久に歳をとらない。
語学堪能（日本語、英語、中国語、フランス語、ドイツ語）のマルチリンガル。
- 特徴：

皆様ともっと近く寄り添うために生まれた「OptoSigma®」ブランドの公式キャラクターです。

「アイ・キャッチ」「ナビゲーター」「コミュニケーター」という大きな3つの役割をもって、WebやSNS、展示会等の様々な場面で活躍しています。

「Project Avatar」 新しいマーケティングキャンペーン



「Project Avatar」は、ガンマ線によって生まれ、優れた知性を持つロボットヒーロー「KAZU」が繰り広げるSFベースの冒險物語です。
コミックタイプのマーケティングツール「Project Avatar」を通じて、グローバルマーケットでのユニークなブランド構築とともに、将来の光学分野を担う学生や若い研究者等の幅広い人材層とつながる等、持続可能なブランド価値の訴求に取り組んでいます。

◀ 「Project Avatar」1巻（左）と主人公のKAZU（右）

「OptoSigma®」 グローバルブランド



Optics & Photonics（光学）+ Sigma（総和・融和・協調）

当社グループが長年に亘り光学分野で培ったオンリーワン・ナンバーワン技術を
「融合・伝承」し、未来が求める新しい「光ソリューション」を提案することが、
皆様の「くらし」と「いのち」を支え、社会貢献につながると考えています。
海外でプロダクトブランドとして先行していた「OptoSigma®」ブランドを
2014年1月1日よりグローバルブランドに位置づけ、世界で展開を進めています。

「Light Solutions for Life®」 ブランド・ステートメント

Light Solutions for Life.
光なら、きっとできる。

皆様の「くらし」や「いのち」に関わる
様々な分野を「光技術の弛まぬ革新」と
「光ソリューションの提供」で支えていく
という、シグマ光機グループの「ものづくり」に対する事業姿勢を表しています。

「Project Avatar」はこちらから
読むことができます。（英語版のみ）▶



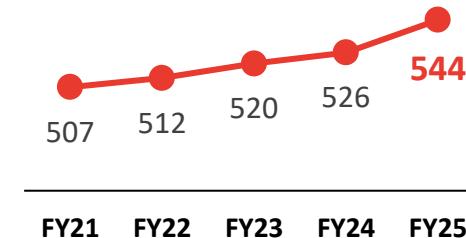
財務・非財務ハイライト（5年）

財務ハイライト

	(単位：百万円)				
	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025
売上高	8,765	10,354	11,367	11,213	11,580
売上原価	5,406	6,269	6,926	6,928	7,254
販売管理費	2,376	2,646	2,936	3,106	3,194
営業利益	983	1,437	1,504	1,178	1,131
営業利益率 (%)	11.2 %	13.9 %	13.2 %	10.5 %	9.8 %
経常利益	1,152	1,614	1,690	1,349	1,269
親会社株式に帰属する当期純利益	822	1,170	1,493	687	986
設備投資	190	198	839	1,121	417
営業活動CF	1,577	942	982	1,410	379
投資活動CF	△1,486	△708	182	△1,458	△418
財務活動CF	△370	△532	△112	△618	△601
現金及び現金同等物の期末残高	3,247	3,135	4,330	3,904	3,284
配当金 (円)	40	40	42	42	42
配当性向 (%)	34.4 %	24.2 %	19.9 %	43.3 %	30.2 %
株価収益率 (PER) (倍)	14.68 倍	9.04 倍	7.23 倍	15.97 倍	9.79 倍
自己資本利益率 (ROE) (%)	6.15 %	8.16 %	9.60 %	4.13 %	5.68 %
株価純資産倍率 (PBR) (倍)	0.90 倍	0.74 倍	0.69 倍	0.66 倍	0.56 倍

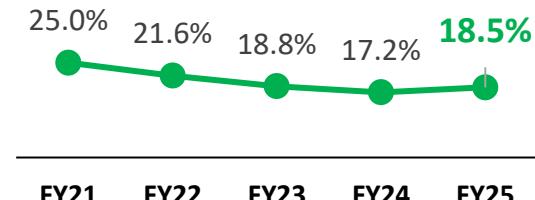
非財務ハイライト

社員数 544名 (連結)

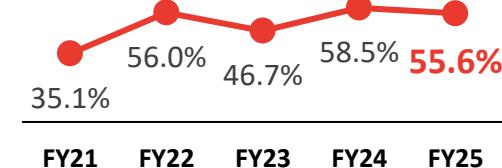


女性役職者比率※ (単体)

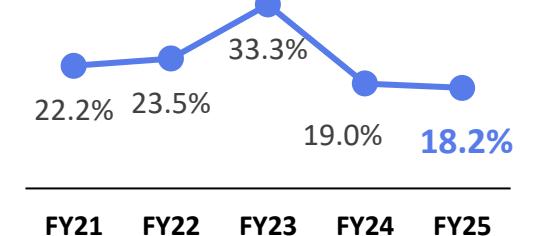
主任相当職



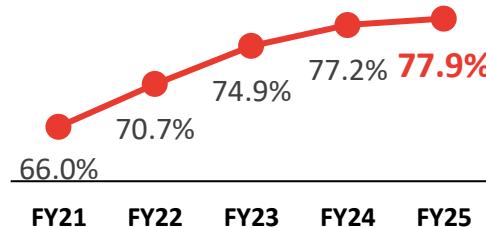
採用者の女性割合 55.6 % (単体)



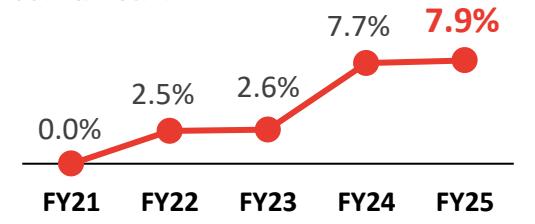
係長相当職



年次有給休暇取得率 77.9 % (単体)



課長相当職以上



※各役職別男女対各役職別女性比率

会社概要 (2025年8月27日現在)

■社名	シグマ光機株式会社
■本社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
■設立	1977年（昭和52年）4月
■資本金	26億2,334万円
■従業員数	384名（2025年5月31日現在）
■役員	代表取締役社長 近藤 洋介 取締役 石井 康之 取締役 多幡 能徳 取締役（社外） 小澤 勉 取締役（社外・独立） 野崎 誠 取締役（社外・独立） 松尾 祐美子 取締役（社外・独立） セットジョン 常勤監査役（社外・独立） 上野 健司 監査役（社外） 南雲 幸一 監査役（社外・独立） 熊崎 美杉

株式の状況 (2025年5月31日現在)

■発行可能株式総数	32,000,000株
■発行済株式総数	7,552,628株
■株主数	5,820名 (前期末比137名増)

■主要株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
浜松ホトニクス株式会社	1,000	14.11
シグマ光機取引先持株会	492	6.95
光通信株式会社	338	4.78
株式会社ツシマ	228	3.23
シグマ光機従業員持株会	203	2.87
富国生命保険相互会社	200	2.82
株式会社埼玉りそな銀行	178	2.51
株式会社サンライズクリエート	148	1.09
杉山大樹	110	1.56
株式会社三井住友銀行	110	1.55

(注) 持株比率は、自己株式（470,450株）を控除して計算しています。

■所有株数別株式分布状況 (%)



■所有者別株式分布状況 (%)



(注) 自己株式（470,450株）を含んでいます。

株主メモ

■事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
■定時株主総会	毎年8月開催
■基準日	定時株主総会 毎年5月31日 期末配当金 每年5月31日 中間配当金 每年11月30日

■単元株式数	100株
■公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

■電子公告URL

<https://www.sigma-koki.com/>

お問い合わせ

シグマ光機株式会社
東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221(代表)



Light Solutions for Life®